

事業計画、収支予算書

平成28年度

(2016. 4 ~ 2017. 3)

一般社団法人 中部産業連盟

目 次

I. 平成28年度（2016年）事業活動方針と主要事業計画	1
II. 事業実施計画	
1. コンサルティング事業	5
2. セミナー事業（企業内）	10
3. セミナー事業（公開）	14
4. 国際協力事業	21
5. 受託事務局事業	22
III. 会 務	23
IV. 年度予算編成の要点	26
平成28年度収支予算書	

I. 平成28年度（2016年）事業活動方針と主要事業計画

1. 事業活動方針

日本経済は、円安や企業業績の改善などから明るさが見え始めていたが、新興国経済の減速や国内での慢性的な人手不足など様々な要因により年初から金融市場では大荒れの状況が続き、先行きは不透明なものとなっている。そのような状況の中、企業においてはさらなるイノベーションの強化とそれを実行する人材の育成がますます重要課題となっている。

中部産業連盟は、今年68年目を迎え、マネジメント専門団体として、会員企業をはじめ産業界の発展に貢献することを行動指針として、各種マネジメント事業を積極的に推進する。

平成28年度は、基幹事業の充実による新顧客創造と体質強化による安定性と成長性を強化し、産業界、企業に対する支援体制の確立を図り、経営基盤を強固にする。基幹事業であるコンサルティング事業は、国内人事・総合系では人事管理、中長期計画策定など4分野での新規開拓の推進。生産・ISO系では生産現場改善支援の強化、ISOの2015年版改訂の対応支援やグローバル化に対応する国際コンサルティング事業の拡充を進める。また、もう一つの柱である人材育成事業は、ますます多様化する産業界のニーズに対応するフォーラム、研究会、セミナー事業の開発・強化と「ものづくり」、「ひとづくり」をテーマにした長期コースやトップセミナーを展開し、さらなる事業の充実を目指すとともに、常に最新情報を発信し認知度の向上を積極的に図る。

また中期経営計画として、前年度（2015年度）は再生と改革準備期、本年度2016年度から2020年度を改革実行、強化期と位置付け、新事業の順次実行、顧客創造、体質強化策や認知度向上等を着実に実行することにより、産業界の期待に応える総合マネジメント・シンクタンクとして使命と責任を認識し確立する。

2. 主要事業計画

(1) コンサルティング事業

1) 中産連総合研究所

- ・第29回マネジメント大会（名古屋）

開 催：平成28年11月15日(火)

開催場所：メルパルク名古屋

2) コンサルティング事業部（610社）

- ・コンサルティング事業 計画：140社
- ・Pマーク審査事業 計画：470社

3) 人材サービス事業部

- ・有料職業紹介事業、一般労働者派遣事業

「地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業」（中部経済産業局）

4) マネジメント事業部（185社）

- ・マネジメント貢献部 計画：35社
- ・ISO研修部 計画：94社
- ・マネジメント研修部 計画：16社
- ・マネジメント開発部 計画：40社

5) 東京事業部（150社）

- ・「見える経営」「見える管理」の具体的手法としてのVM（Visual Management）を用い、企業体質の根本改善、経営革新を支援
- ・中産連VM賞の普及と表彰
- ・第23回マネジメント大会（東京）
開 催：平成28年10月20日(木)
開催場所：アルカディア市ヶ谷

(2) セミナー事業（公開）

1) コンサルティング事業部

- ・第20回次世代グローバルリーダー育成短期留学コース
定員10名以内、現地研修3週間

- ・第9期・第10期経営後継者養成アカデミー（J E A）短期コース
定員10名以内、期間：6ヶ月、各期25回開催

- ・第7期木曾駒塾

計画：30社、6回開催

2) マネジメント事業部

①海外洋上研修

第32回中産連“創造の船”

- ・平成28年11月19日～26日（8日間）

- ・訪問国：シンガポール、ベトナム、インドネシア、インド

②共同プロジェクト

「未来展2016」

開催予定：平成28年7月27日～28日（2日間）

来場予定：10,000名予定

内 容：最先端の科学技術、未来社会の予測、新ビジネス創出

③中小企業診断士登録養成課程

中小企業診断士養成を目的とする（137名修了）

第9期 平成28年3月スタート（15名）

④TPSとJMSの推進

- ・トップマネジメント層

日本経営管理標準（JMS）トップセミナー（年1回）

- ・マネジャー層

「ものづくり現場 上位管理者養成講座」

JMS各論編「現場管理と改善」「生産技術」

⑤トヨタ生産方式研究会

- ・PART I 年2回（5月、10月）

- ・PART II 年2回（6月、11月）

(3) 国際協力事業

コンサルティング事業部 国際部

- ・国内での活動

長期受託コース：「日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修
計画／全社的品質・生産性向上」研修コース

・海外での活動

タンザニア国への生産性改善から中小企業支援

(4) 受託事務局事業

1) マネジメント事業部

①環境パートナーシップCLUB (EPOC)

エコ・エフィエンシー（環境効率性）の実現を追求
会員数282社（平成28年1月現在）

分科会により研究会・見学会を開催

②日本設備管理学会 本部、東海支部

業務受託（総会・シンポジウム、大会等の実施）

③日本経営管理標準（JMS）推進機構事務局の運営

2) 総務本部 会員サービス部

①日本経営近代化協会（SAM）名古屋支部

②日本広報学会中部部会

Ⅱ．事業実施計画

1. コンサルティング事業

(1) 中産連総合研究所

第29回マネジメント大会（名古屋）

開催：平成28年11月15日(火)

開催場所：メルパルク名古屋

(2) コンサルティング事業部（140社・審査事業470社）

1) 国内人事・総合系

企業の経営計画策定、人事制度改革、販売戦略策定、業務効率化などに関するコンサルティングに幅広く対応。

人事、中長期、マーケティング戦略、業務効率化の4分野で新規開拓を行い、コンサルティングを実施。

①人事制度改革

②中長期経営計画策定

③マーケティング戦略策定

④業務効率化支援

2) 生産・ISO系

製造業に対し企業体質改善、品質改善、生産性向上、人材育成等に関するコンサルティングを実施。

①生産現場改善支援

トヨタ生産方式をベースにしたコンサルティングを実施。5S活動の推進、品質のつくり込み、不良低減、原価低減、在庫削減など自動車部品メーカーを中心にトヨタ生産方式の導入から定着までを支援。

②企業活性化

金融機関、支援機関と連携し、多業種の製造業に対して診断を行い、企業のニーズに基づいたコンサルティングを実施。テーマは、企業活性化、原価低減、QCサークル活動支援、不良低減、生産性向上、人材育成など。

③マネジメントシステム構築支援

ISO9001、ISO/TS16949、ISO27001、ISO22000、ISO14001の認証取得支援やレベルアップのための支援を実施。また、ISO9001/14001の2015年版改訂にともない、これらのマネジメントシステムと経営管理システムとの統合をめざしたコンサルティングを実施。

3) 事業再生・企業経営力強化の経営計画策定およびコンサルティング

金融機関、投資ファンド等と連携を行い、企業活性化・経営力強化および具体的テーマのコンサルティングやモニタリングを実施。

- ①都道府県の中小企業再生支援協議会『経営改善支援センター』の認定支援機関として、経営改善計画の策定支援およびコンサルティング
- ②「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」申請関連のコンサルティング
- ③One day 経営診断の実施と経営支援コンサルティング

4) プライバシーマーク審査事業

プライバシーマーク審査指定機関（(一財)日本情報経済社会推進協会認定）として、主に中部地区（愛知県、岐阜県、三重県、石川県、富山県）の事業者に対してJISQ15001規格に準拠した個人情報保護マネジメントシステムの構築／運営状況の付与適格性審査を行う。（2006年以降の付与適格判定事業者は、約900事業者）

- ①本年度は、470社（新規：50社、更新：420社）の審査を予定。
- ②事業者のマイナンバーの取扱いやストレスチェックに対応した審査を行う。
- ③職員及び委嘱審査員の確保（現行：25名＋新規：4名）及び研修会等を実施。
- ④積極的に情報提供して、事業者の自律した個人情報マネジメントシステムの確立／実施／維持を支援。

(3) 人材サービス事業部

平成26年4月より、有料職業紹介ならびに一般労働者派遣事業を開始しているが、新年度は新規学卒者から中途採用者まで、積極的に紹介・斡旋事業を展開。

また、中部経済産業局の「地域中小企業・小規模事業者の人材確保支援等事業」に応募。

この地域の産業構造から、特に技術系新規学卒者の人数が要求に対し不足しており、企業側にとって必要な「人材」の確保が急務である。このようなニーズに対応しつつ、中産連の強みである人材教育、コンサルティングを組み合わせ、企業のニーズにマッチする総合的な人材確保（採用）、育成事業を展開。

(4) マネジメント事業部（185社）

1) マネジメント貢献部

- ①中小企業診断士登録養成課程に関連した中小企業診断士を活用したコンサルティングを実施。本年度は、中産連が未開拓なエリアを金融機関と連携して開拓。個別企業のニーズに合わせたきめ細かいコンサルティングプログラムを実施。
- ②修了生在籍企業に対して新製品開発・販路開拓コンサルティングプログラムを提供。
- ③国際マネジメントシステム規格対応、現場改善、人事制度など各経営コンサルティン

グプログラムを提供。

④海外販路開拓

約15社の中小企業に対し、海外販路開拓支援コンサルティングを実施。

2) I S O 研修部

①マネジメントシステム構築、診断、研修、改善指導、2015年版改定支援

- ・ I S O 9001
- ・ I S O 14001
- ・ I S O 45001
- ・ V D A
- ・ I S O 39001
- ・ J I S Q 9100
- ・ I S O 22000 (H A C C P)
- ・ I S O 27001
- ・ T S 16949

②Pマーク審査協力

3) マネジメント研修部

T P M、T P S、5 S、Q Cなど生産革新・現場改善や職場活性化支援、人事制度改革などのコンサルティングの企画・提案・受注活動を実施。

①生産現場改善

②事務現場の業務効率化

③人事制度構築

④中国プロジェクト

中産連北京事務所による、中国日系企業及び中国民営企業に対する経営管理革新支援、人材育成支援、情報サービス活動を実施。

4) マネジメント開発部

企業の業績向上に結びつくJ M SおよびT P Sの理念・手法に基づいたコンサルティングを国内及び海外で実施。

本年度は、独自の診断ツールに基づき、自動車部品の2次・3次メーカーの経営改善コンサルティングの導入及び、T P Sを自動車部品以外の業種へ展開するコンサルティングプログラムを企画し実施。

①コンサルティング

- ・現場力改善及び経営力改善
- ・管理間接部門における業務「質」改善と活性化

- ・生産準備業務改善
- ・生産管理改善（品質管理を含むサプライチェーンの仕組みづくり）
- ・付加価値の追求活動による競争力強化
- ・四位一体による全社的なものづくり再構築
- ・工場新設に伴うシンプル・スリム・コンパクトラインの構築

②メンタルヘルス電話相談窓口

企業単位での年間サポート、及び社内研修実施後のサポート（約半年）として電話相談を実施。

相談担当者や管理職の部下のメンタルヘルス維持向上の対応相談、ハラスメント問題への対応、人間関係やコミュニケーションの課題を抱える社員の相談窓口として対応。

(5) 東京事業部（150社）

東京事業部のコンサルティング事業は、『経営』『人材』『職場』の3つの視点から企業の多様なニーズに応え、また、営業担当者とコンサルタントの一体的な商品開発により、産業界が抱える「今」と「一歩先」の課題に対し、常に積極的・挑戦的に取り組む。

1) 経営革新コンサルティング

『経営』の視点から、生産システム、営業・開発を含む管理・事務システム及びマネジメントシステム全体を対象に、コンサルティングを実施。「見える経営」「見える管理」の具体的な手法としてのVM（Visual Management）を用い、企業体質の根本改善、経営革新を支援。

※VM手法は中部産業連盟の登録商標

①5S・VM関連の具体的なテーマ

- ・企業の全部門における本格的な5S活動の推進
- ・企業の全部門におけるVM（見える経営）活動の推進
- ・VMによるフレキシブル生産システム（VM-FMS）の確立
- ・生産現場改善によるコストダウンと生産性向上
- ・全社的VMによる在庫削減とリードタイム短縮の推進
- ・5S、ファイリング（紙・電子データ）、VMによる管理・間接部門の改革
- ・組織横断VMによるプロジェクト管理

（経営戦略VM、グローバル展開VM、収益管理VM、目標管理VM）

- ・業界別VM（食品、医療、情報産業、行政）

②VMを広く普及させていくための施策

- ・中産連VM賞の普及と表彰

VM活動を推進して、生産の効率化、事務の効率化、原価低減、企業体質革新を

実現した企業、事業所に対しVM賞を授与して表彰。

③その他のテーマ

- ・管理会計、予算管理、原価管理に関するコンサルティング
- ・中小企業の企業再生のための診断とコンサルティング
- ・販売戦略、マーケティング戦略の策定と展開、及び販売管理体制の確立に関するコンサルティング
- ・ISO：2015年版移行（9001、14001）、新規認証取得（9001、14001、27001、22000）のためのコンサルティング

2) 人材革新コンサルティング

『人材』という視点からコンサルティングを実施。人や組織の可能性を最大限に引き出し、活力ある事業活動を支援。

- ・コンサルティング関連の具体的なテーマ
 - ①人事制度導入支援
 - ②65歳雇用確保に向けた人事制度再構築支援
 - ③コンピテンシー評価制度の導入・展開支援
 - ④組織風土改革支援

3) 職場力開発コンサルティング

『職場』という視点から診断・調査報告、コンサルティングを実施。職場の「職場力開発」を推進するとともに、職場メンバーである若手・中堅社員及び職場リーダーを一貫教育によって、「自律型社員」「自律型職場リーダー」へ確実に成長させていくことを支援。

※職場力とは、全員で職場の使命を果たす、仕事を通じてメンバー一人ひとりを活かし、成長させる力

- ・診断、調査、コンサルティング関連の具体的なテーマ
 - ①自律度診断の実施
 - ②職場力診断と職場力開発支援（職場が持つ「マネージャー機能」「リーダー機能」「プレイヤー機能」の強化）
 - ③自律型社員として確実に成長させるためのOJTの導入・運用支援
 - ④目標管理の運用を通じて自律型組織をつくる教育支援
 - ⑤自律型社員の成長支援及び職場力開発を目的とした教育体系の構築

4) 業務協力によるコンサルティングおよび研修活動

- ①金融機関系の総合研究所・シンクタンクと業務協力し、民間企業に対するコンサルティングと研修事業を受託し、共同でコンサルティングと研修活動を実施。

②各省庁・行政機関及び関係団体などの公的機関から依頼を受け、地域の中小企業に対する研修とコンサルティング活動を実施し、地域の中小企業の育成と発展に協力。

5) 第23回マネジメント大会 [東京]

開 催：平成28年10月20日(木)

開催場所：アルカディア市ヶ谷

2. セミナー事業（企業内）

(1) コンサルティング事業部（120社）

1) 総合系

各種階層別研修を継続的に実施するほか、新時代のリーダー育成の半年間シリーズ研修を実施。

また、デザイン思考による新製品開発の要素を取り込み、事業企画部分の内容を充実していく。

2) 生産・ISO系

①生産系

ものづくりの基礎となる5S・目で見える管理研修を企業内や各地支援センターなどで実施。品質については、SQCや問題解決のステップ、不良低減の進め方、人為ミス未然防止などを実際のテーマをもとに進める。

また、生産現場改善のためのIE、モノと情報の流れ図、標準作業などを演習や実際の現場での実習を行いながら進める。

②ISO系

ISO（ISO9001、ISO/T S16949、ISO14001など）の内部監査員養成研修や2015年版改訂に向けての規格の解説などを進める。

(2) マネジメント事業部（147社）

1) マネジメント貢献部

①企画・開発人材向け研修

②IE、VE研修

2) ISO研修部

各種 規格の解説研修、内部監査員養成研修、VDA6.3研修

3) マネジメント研修部

経営者から新入社員まで様々な階層を対象とした階層別研修や、生産・営業・財務などの分野別研修、各種ビジネススキルアップ研修等、企業の様々な課題や要望にあわせた企業内研修の企画提案活動を実施。

- ・階層別基本研修（経営幹部、課長職、T W I、新任班長、主任、入社3年目、新入社員、新入社員フォローアップ）
- ・経営戦略策定の進め方研修
- ・製造現場における人の育て方
- ・ビジネスマナー向上研修
- ・仕事の教え方
- ・O J Tインストラクター育成
- ・人材アセスメント研修
- ・内定者のためのフォローアップ研修
- ・5 Sの知識と実践力養成研修
- ・Q C的モノの見方・考え方研修
- ・原価のしくみと活用法
- ・コーチングの実践力向上研修
- ・部下力（フォローワーシップ）研修
- ・問題解決研修
- ・「A3用紙・1枚」提案書作成研修
- ・コミュニケーション力アップ研修
- ・ロジカルシンキング研修、ロジカルシンキング企画書作成力向上研修
- ・「レジリエンス（折れにくい心）」の養成研修
- ・“3シップ”を体得する野外研修
- ・決め事を守る職場風土づくり
- ・内部監査員養成研修
- ・食品製造部門研修（異物混入、5 S活動）

4) マネジメント開発部

管理監督能力の向上、及びT P Sコンサルティング導入教育・補完教育を目的として、企業内研修を実施。

①階層別研修

- ・管理能力向上プログラム（企業内版）
- ・実践フォアマン研修（企業内版）
- ・モノづくりシミュレーションによるP D C A新入社員研修
- ・モノづくりシミュレーションによるチームワーク中堅社員研修
- ・階層別コミュニケーション研修
- ・階層別メンタルヘルス向上研修

- ・階層別 I E 研修

②テーマ別研修

- ・標準作業と改善研修（企業内版）
- ・標準作業基礎研修
- ・J I T ボード演習
- ・ジャスト・イン・タイム基礎研修
- ・モノと情報の流れ図実践研修
- ・小集団活動リーダー養成研修
- ・5S 研修
- ・管理間接部門の改善実践研修
- ・営業戦略研修
- ・V E 研修（基礎、実践）
- ・A - K O M I K 研修
- ・製図、メカトロ研修
- ・I E 基礎研修
- ・非製造業における改善実践研修

(3) 東京事業部（80社）

各分野、以下のテーマで企業内セミナーを実施。

1) 経営革新分野

5S・VM、在庫削減、品質管理、物流改善、I S O（2015年版対応、内部監査員養成研修）、問題解決など

2) 人材革新分野

①C A P（中産連アセスメントプログラム）

- ・昇進昇格診断
- ・適材適所診断
- ・マネジメント能力向上研修（受講者へのフィードバック重視）

②人事考課者プログラム

- ・コンピテンシー評価研修
- ・M B O 考課研修
- ・被考課者研修
- ・自社課題活用人事考課者研修

③C A P のバリエーション拡大

- ・キャリアデザイン、アセスメント

- ・後継者の適性診断、育成アセスメント
- ・営業管理者アセスメント
- ・営業職アセスメント
- ④ブレイクスループログラム
 - ・アクションラーニング
- ⑤知識・スキル向上系プログラム
 - ・若手社員キャリア形成研修
 - ・中堅社員マネジメント研修
 - ・現場班長研修
 - ・ロジカルシンキング研修
 - ・コミュニケーションスキル強化研修
 - ・労務管理基礎研修
 - ・財務会計基礎研修
 - ・ビジネスシミュレーションゲーム
- ⑥G-CAP (Global-Chusanren Ability & Aptitude Program)
 - ・海外適性予測診断検査

3) 職場力開発分野

- ①自律型社員育成研修（新人、0.5年目、3年目、5年目、7年目研修）

「主体的な姿勢」と「自律的な行動」の両面から、自律型社員へ確実に成長させる。
- ②職場リーダー研修

職場長とともに職場力開発を推進していきける職場リーダーを養成。
- ③部下指導研修

自律型社員を育成するための部下指導力を身につける。
- ④自律型組織づくり研修

目標管理の運用や、職場の「自律型組織としてのあたり前」の展開、定着によって、自律型組織をつくる。
- ⑤行動変革研修

『自律度診断』によって自身の他律・他責傾向に気づかせる、『行動ノート』を活用し成長課題を確実に実践させる。

3. セミナー事業（公開）

(1) コンサルティング事業部（360名）

1) 国際部

これまでの海外での教育訓練、そして外国人の日本への受入研修を通じた豊富な経験を活かし、幅広い分野での公開研修を提供。海外展開を意図する企業へのビジネス分野だけに止まらず、海外文化や語学も対象とし、各種の海外ネットワークとの協働関係を背景に展開。

海外事業関連、海外赴任者事前準備シリーズ

- ・日英対訳で学ぶマネジメント
- ・日英対訳で学ぶ問題解決
- ・組織的に成功する英語学習－語学習得の具体的方法
- ・海外現地法人で活かす「異文化理解」と「円滑なコミュニケーション」
- ・海外で成功する改善業務「指導の仕方」「指導の順序」

2) コンサルティング企画営業部

①第20回 次世代グローバルリーダー育成短期留学コース

米国インディアナ州ノートルダム大学ビジネススクール (Mendoza College of Business) にて、日本人向けに特別にアレンジした3週間の短期留学プログラム。グローバル人材に必要なコミュニケーション能力・異文化理解力・ビジネス力の3大スキルを磨く。

事前研修：平成28年2月～6月（全5回）

現地研修：平成28年6月18日～平成28年7月9日（3週間）

②経営後継者養成アカデミー（J E A）短期コース（研修修了生42名）

第9期・10期 半年間コース実施予定

- ・平成28年4月～平成28年9月
- ・平成28年10月～平成29年3月

内 容：同族企業後継者で既に実務に就いている若手経営・管理者を対象に、経営のあり方や事業戦略、事業継承に関する知識を、座学・企業訪問などを通じて短期間、全25回（半年）で学ぶ。

③第7期木曾駒塾

中部産業界のゆかりの地にちなんで名づけられた「木曾駒塾」では、中部産業界から優れたリーダーを輩出したいという経営者の方々の想いにより、未来の中部産業界を担う高い志を持ったリーダーを育成することを目的に、講義による想いの共有とディスカッションによる研修を平成29年2月までに6回実施。

④その他継続的研修

- ・管理能力向上プログラム
- ・モノと情報と時間の流れ図の描き方と活かし方
- ・人為ミス対策の進め方と成功のポイント

(2) マネジメント事業部 (6,930名) ※未来展2016の参加者を除く

1) マネジメント貢献部

①中小企業診断士登録養成課程

中小企業に対して経営診断及び経営に関するアドバイスを実施する中小企業診断士を養成するために、平成19年より中小企業診断士登録養成課程を開講。本課程を修了し中小企業診断士を修得した方は137名を数える。本年度（第9期）も平成28年3月より、約15名の受講生を迎えて実施。

②中小企業診断士登録養成課程修了生向け事業

- ・中小企業診断士の更新ポイント取得のための診断プログラム
- ・中小企業診断士としてのスキル向上のための窓口相談ロールプレイングセミナー
- ・中小企業の海外展開支援のための海外企業視察（ベトナム）

③改正労働安全衛生法・化学物質対応セミナー

化学物質を使用する事業者向けに、産業環境管理協会と提携し実施。

2) I S O 研修部

① I S O 9001 関連

- ・2015年版改定対応研修
- ・規格の解説
- ・内部監査員研修（名古屋、浜松、静岡、富山、金沢、大阪、岡山、福岡）
- ・T S 16949規格の解説／内部監査員コース
- ・V D A - Q M C T S 16949監査員／V D A 6.3監査員／V D A 6.3概説／V D A 6.5製品監査／V D A 2生産プロセス& P P A / R G A（新規）／R P P（新規）／P S B
- ・新入社員のための I S O マネジメント
- ・計測器管理実務の校正実務改善・適正な校正の進め方
- ・I M S 構築セミナー
- ・I M S 内部監査員養成コース
- ・C P D 研修

② I S O 14001 関連

- ・2015年版改定対応研修
- ・規格の解説

- ・内部監査員研修（名古屋、浜松、静岡、富山、金沢、岡山）
- ・環境影響評価技法研修
- ・環境関連法解説

③ OHSAS 18001（労働安全衛生マネジメントシステム）

- ・規格の解説
- ・内部監査員研修
- ・リスクアセスメント研修

④ ISO 45001（労働安全衛生マネジメントシステム）

- ・規格の概要研修
- ・内部監査員研修

⑤ ISO 27001（情報セキュリティマネジメントシステム）

- ・規格の解説
- ・内部監査員研修

⑥ プライバシーマーク（個人情報保護マネジメントシステム）

- ・内部監査員研修
- ・個人情報保護法／Pマーク／ISO 27001理解セミナー

⑦ ISO 22000（食品安全マネジメントシステム）

- ・規格の解説
- ・内部監査員研修

3) マネジメント研修部

創造性豊かな人材育成をねらいに、会員企業を中心に産業界全体に対し、時代の要請に応え得る人材を育成する公開研修事業や技術革新、グローバル化に対応した長期研究会、フォーラム等の企画実施、中産連“創造の船”（第32回）の企画運営。

① フォーラム事業

- ・モノづくり応援フォーラム（平成29年3月／名古屋市内）
- ・ヤング・エグゼクティブ・フォーラム（4月～翌3月：12回コース）

② 研究会事業

- ・モノづくり研究会（7回シリーズ：9月～）
- ・中部VE研究会（通年：VE大会、専門研究会、見学会を開催）
- ・人事実務基礎講座（6回コース：7月～）

③ 海外洋上研修事業

第32回中産連“創造の船”

洋上や海外という非日常空間から生まれる一体感と交流を通じて意識の改革を図り、

視野の拡大と自己の行動変革を図る。

期 間：平成28年11月19日～11月26日 8日間

訪問国：シンガポール、ベトナム、インドネシア、インド

④公開研修事業

・階層別研修

取締役研修、部長研修、課長研修、係長研修、主任研修、中堅・若手社員研修、新入社員研修シリーズ、新入社員フォローアップ研修、社会人ステップアップ研修、製造部門階層別（製造幹部研修、製造管理者研修、製造監督者研修、製造現場中堅社員研修、TWI監督者訓練）、現場リーダー実践研修、女性リーダーの仕事術、現場中堅社員のための考える力育成、新任班長研修、中堅社員のための「問題発見と解決力」パワーアップ研修

・生産部門研修

モノづくり現場のムダ退治、ポカミス撲滅への体質改善と対策の進め方、はじめて学ぶ生産管理の基礎、I E手法による現場改善の進め方、品質管理セミナー、5Sセミナー、生産性向上の進め方、コストダウン基礎研修、やさしい設備の日常点検と管理の進め方、よくわかる現場の「油圧・空圧」、よくわかる現場の「電気・PC」、製造現場リーダーのための改善力を高める7つの方策、変化点管理の進め方、生産計画と日程管理、自工程完結品質作り込み強化法、製造現場の問題発見・着眼力向上、製造現場のレイアウト改善、現場改善入門、現場管理力向上研修、工程内品質保証、トヨタに学ぶ業務改善、簡易自動化、基礎から学ぶ段取り改善の考え方、作業改善の進め方、3H実践活動、QC的モノの見方・考え方、ムダ取り改善力向上研修、創意・くふう改善研修、FMEA-FTA研修、課題設定・解決力、工場エアのトラブル対策と省エネ、品質ばらつき不良低減

浜松・東京開催セミナー

・原価管理、購買部門研修

原価のしくみと業務への活用法、購買部課長の実務研修、購買・外注担当者の基本と実務研修、購買管理の基礎とコストダウン技術、調達品のコストダウンと値下げ交渉、VEリーダー養成講座、VEスペシャリスト養成講座、「単価交渉・値引き交渉」あの手この手、見積書の上手な活用法、原価企画活動

・営業部門研修

営業マネジャーの役割と実務、「営業組織力強化」への具体的な進め方、受注を勝ち取る価格設定と原価見積のすすめ方、セールストーク、営業アシスタント実践研修、折衝力・交渉力修得研修、戦略営業の進め方、法人営業の基礎実務、「情報収集力と

提案力」強化

- ・ 経理、財務部門研修

決算書、簿記、年末調整、原価管理の基本

- ・ 人事、総務部門研修

労働トラブル対応、新入社員研修担当者セミナー

- ・ 物流部門研修

生産段階における物流改善の考え方と進め方、トヨタ物流方式（T L S）の基本的考え方、販売物流改善の考え方と在庫コントロールの進め方

- ・ ヒューマンスキル、ビジネススキルアップ研修

接遇実務研修、秘書研修、チーム力アップのためのコーチング、「上司の質問力」養成研修、ビジネスコミュニケーション術、人を育てる「ほめ方・叱り方」、自ら考え行動できる「部下力（フォロワーシップ）」の磨き方、決め事を守らせるには、会議ファシリテーター養成研修、契約書の基礎知識と実務、「A3用紙1枚」で仕上げる企画書作成術、「読解力×図解力」トレーニング、段取り上手の仕事術、レジリエンス（逆境力）研修、職場モチベーションの創り方、リーダーシップ力を高める効果的な3つの方法、プラス思考の習得とチャレンジ精神の育成、壁を乗り越える人になる合宿研修、ロジカルシンキング、管理者が取り組む仕事のストレスの予防と対策、仕事の質を高めるP D C A、なぜなぜ分析の進め方、主体性向上研修、気配り上手の仕事術、プロフェッショナルマインド養成研修、フレームワーク活用術、経営者感覚養成研修、ポジティブリーダー育成研修、プロジェクトの段取りと進め方

- ・ 技術、開発、設計部門研修

製図技能教室、機械設計製図講座、図面の見方・読み方、はじめて学ぶ設計の心得と実務、設計のムダ退治とコストダウン、設計部門のポカミス撲滅と検図の仕組みづくり、設計審査（D R）の上手な進め方、治具・取付具・位置決め設計の上手な進め方、技術者のための文章力向上研修、商品企画力・開発力の基本、技術者向「コミュニケーション・プレゼン力」を高める3つの方策、加工知識と設計見積力による設計の強化、設計リーダーに必要なマネジメントの実務と要点、機械材料入門研修、構想設計力向上、設計段階での原価のつかみ方と原価低減の進め方、D R B F Mの効果的進め方、電気・電子回路図面、鉄鋼材料の熱処理と表面硬化

- ・ 貿易部門研修

貿易基礎実務研修

- ・ 食品製造部門研修

食品衛生指導法、リスク管理とコストダウン、食品工場の現場力アップ、異物混入・

クレーム対策、食品クレーム撲滅に向けた5S活動

⑤海外受入研修

中国製造業企業管理技術訪日研修団

⑥受託事業

静岡県（次世代自動車中核人材養成事業）

⑦共同プロジェクト

未来展2016

開催期間：平成28年7月27日～28日 2日間

会場：名古屋市中小企業振興会館 吹上ホール

4) マネジメント開発部

企業業績の向上に寄与するJMSの普及啓蒙を行う。また、TPSの思想と進化（深化）しつづけるTPSを、産業界のレベルアップを図るべく強力に発信。

①トップマネジメント層

- ・日本経営管理標準（JMS） トップセミナー

②マネージャー層

- ・ものづくり現場 上位管理者養成講座
多くの企業の悩みである「職場づくり」「改善活動」「品質問題」等をテーマに、自社の課題を取り上げ、「問題点の顕在化」「組織で解決・標準化」について組織（関連部署・上下）を動かし、ワンランク上の現場管理者の育成を目指す。
- ・「モノと情報の流れ図」の描き方と対策
- ・JMS各論編
「現場管理と改善」「生産技術」
- ・企業のグローバル展開に役立つ、JMSに基づいた「海外人材育成」プログラム（日本語と英語の併用）

③監督者層

- ・実践！「TPSに基づくフォアマン研修」
- ・「標準作業と改善」実習
- ・JITボード演習
- ・トヨタ生産方式に基づいた儲かる生産保全
- ・S（シンプル）S（スリム）C（コンパクト）な革新ラインの構築
- ・ジャストインタイム実践研修

④トヨタ生産方式研究会

本セミナー開講39年を超え、時代の変化と共に進化し、かつ時代の変化の中でも不変であるトヨタ生産方式の本質をトヨタ自動車ならびにトヨタグループ各社のご協力の下、より一層正しく普及啓蒙する。

・研究会概要

特別講演「トヨタ生産方式の本質と進化（深化）」

講演者 トヨタ自動車(株) 専務役員 宮内 一公氏

内 容 と 講 師	春 季	秋 季
PART I 「改善の進め方」講座 【定員280名】 講師：トヨタ自動車(株)TPS推進センター生産調査室 室長 石井 渉氏 他6名	平成28年 5月18日～20日 (3日間)	平成28年 10月12日～14日 (3日間)
PART II 「作業改善」研修 【定員 48名】 講師：トヨタ自動車(株)TPS推進センター生産調査室 室長 石井 渉氏 主査 牛島 信宏氏 他	平成28年 6月19日～24日 (6日間)	平成28年 11月13日～18日 (6日間)

⑤VE基礎セミナー

⑥メンタルヘルス関連

階層別に、メンタルヘルス悪化の予防対策となる実践的な研修を行う。

- ・初級監督者のための「明るい職場づくりのコミュニケーショントレーニング」
- ・現場最前線のラインケア！！部下育成のための「傾聴トレーニング」
- ・セルフケア研修「心の健康に役立つストレスコントロール」
- ・新入社員・若年社員向け「はじめてのメンタルヘルス・セルフケア」

(3) 東京事業部 (1,000名)

1) 講演会・大会

- ・「VM／見える経営 事例発表会」開催
(平成28年7月6日、日本都市センターホテル)

2) 公開セミナー・研究会の開催

「生産管理改善／実践手法習得」「『VM／見える経営』活動の進め方」「生産現場まるごと目で見える管理」「管理・間接部門の業務革新（OVMS）」「生産現場改革による徹底したコストダウン」「見える目標管理」「開発・設計のリスク管理と見える化改革」「見える品質管理」「製造リードタイム短縮」「5Sレベルアップ」「事務所の5S・ファイリング」「紙・電子／ファイリングシステム構築」などを関東圏にて実施。また、VMを普及していくために、関東以外でのVM関連セミナーを開催。「ISO見える化スリム化」「ISO 9001／14001の2015年改訂対応セミナー」「ISO 2015年改訂対応：製品・サービスのリス

クママネジメント」「I S O 9001内部品質監査員養成コース」「I S O 14001内部環境監査員養成コース」などを関東圏にて実施。「定年延長時代に備えた人事制度再構築支援」「組織力を高める考課研修の進め方」「人事評価制度の再構築」「アセスメント研修の効果的な活用法」「シニア活性化の手法」「効果的な採用活動の手法」「自律型社員を育てる6つのステップ」「自律型社員が育つ部下指導」「自律型組織づくりのための目標管理運用力」「職場リーダーの育て方」「3年目社員の正しい育て方」「春から先輩社員になるための準備」などを開催。

3) 工場見学会

VMに対する理解を深め、VMを普及していくために、VM先進企業の工場・オフィス見学会を開催。

(4) 総務本部 会員サービス部 (300名)

人材育成フォーラム

これからの企業における「人材育成のあり方」に関する講演と中産連の事業計画の紹介。(12月開催)

4. 国際協力事業

コンサルティング事業部 国際部

国際協力事業には、海外からの研修員(生)を受入れて教育訓練を行う「受入事業」と専門家を海外に派遣する「海外派遣事業」の2種類がある。受入事業は研修会を中心に、海外派遣は現地(工場や地域)指導などのコンサルティングおよび研修の複合形態である。

本年度も、サービスの質的向上を目指し、中産連がこれまで国内外で実施してきたコンサルティング経験を活かし実施。

(1) 国内での活動

(独)国際協力機構(JICA)、(一財)海外産業人材育成協会(HIDA)などから受託、また講師派遣する教育訓練コースの充実を図る。

1) 長期受託コース(3コース)

「日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画/全社的品質・生産性向上」研修コースを5月より実施。また、「BDS(ビジネス開発支援)コース」も開催。

2) その他の受入研修

海外からの研修生を日本に迎え入れ、中産連は講師を派遣する形態で実施。

(2) 海外での活動

1) 中東・アジア地域、アフリカ地域、また中南米地域等に講師を派遣する事業を継続実施。すでに複数年度継続しているタンザニア国への生産性改善から中小企業支援を実施。

- 2) 国や地方の産業全体のマネジメント能力向上や個別企業からの指導依頼が多々あり、これらへの対応を実施、対象は世界各地に拡大。
- (3) 海外との連携強化
- アジアだけでなく、アフリカ、中南米まで広がる中産連のグローバルネットワークが一層強化されるような情報発信を図る。

5. 受託事務局事業

(1) マネジメント事業部

1) マネジメント貢献部

環境パートナーシップ・CLUB (EPOC)

- ・年間予算規模 約41,000千円 会員企業282社 (平成28年1月現在)
- ・ISO14001認証取得企業をはじめとする環境配慮・環境取り組みの重要性を認識する企業が参画、環境に関する7つのテーマから分科会活動を計画的に推進すること等を通じて、当該中部地域を中心とした環境循環型社会の形成を目指す、環境行動推進参加型のクラブ
- ・主な活動：環境経営活動、自然共生社会、循環型社会、低炭素社会推進活動、地域社会・次世代交流・海外との交流活動、広報活動

2) マネジメント研修部

- ・日本設備管理学会 本部
業務受託 (総会・シンポジウム、大会等の実施)
- ・日本設備管理学会 東海支部
業務受託 (総会・シンポジウム等の実施)

3) マネジメント開発部

日本経営管理標準 (JMS) 推進機構事務局の運営

- ・理事会 (年1回)
- ・企画委員会 (年6回)

(2) 総務本部 会員サービス部

- ・日本経営近代化協会 (SAM) 名古屋支部
- ・日本広報学会中部部会

Ⅲ. 会 務

1. 会務日程

- (1) 会員総会 平成28年度定時総会 平成28年6月15日(水)
- (2) 理 事 会 第281回理事会 平成28年5月20日(金)
第282回臨時理事会 平成28年6月15日(水)
第283回理事会 平成28年11月14日(月)
第284回理事会 平成29年3月
- (3) 評議員会 平成29年2月

2. 会員支援

総務本部 会員サービス部

(1) 会員懇話会

経営、経済、社会、技術など、時節のトレンドを捉えたテーマに関する当該分野の第一人者を招聘して、最新情報等を提供する講演会（8月、11月を除く年10回開催・参加者100名／回）（会員無料）

(2) 情報サービス

1) 機関誌『プロGRESS』

マネジメント専門誌として、毎月タイムリーな情報を提供
（月1回発行・2,000部／月）

2) マネジメント小冊子

『平成28年度会員懇話会抄録集』、『革新の創造力・Ⅲ』
すぐに役立つ、経営小冊子を発行
（2冊・年1回発刊・1,000部）

3) 連盟案内パンフレット

連盟案内パンフレットの改訂

・「進むべき道、育むべき人。」

（A4版・オールカラー・中綴じ・16ページ・リーフレット3枚付）

・「進むべき道、育むべき人。」（簡易版）

（A4版・オールカラー・観音開き8ページ）

・「Innovation」（英語版）

（A4版・オールカラー・中綴じ・8ページ）

(3) インターネット

インターネット環境を活用して、より多くの方々に、より早く、より充実した内容の情報を提供するとともに、セミナー、コンサルティングなどさまざまな問い合わせに対応

- 1) ホームページのメンテナンス（概要紹介、最新活動紹介、開催セミナー案内、国際標準規格（ISOなど）事業の紹介、コンサルティング事業の紹介、海外向け研修の紹介、JMS日本経営管理標準、VM目で見える経営、トヨタ生産方式研究会、人材募集など）
- 2) 部門別ホームページ作成・改訂支援（ディレクション）
- 3) Web & Mail方式によるセミナー情報の提供および申込みの受付
- 4) メーリングリストによる各種情報の提供
- 5) 会員企業紹介
- 6) 会員限定サービスの運用（機関誌『プロGRESS』バックナンバーおよび新刊の先行ダウンロードサービス・PDFファイル）
- 7) インターネットを活用した新規事業の企画を検討

(4) 相談室

アポイント制による各種相談室の設置（会員無料）

- 1) 経営相談室……………経営に関するあらゆる問題
- 2) 企業法務相談室……………経営に関する法的な問題

(5) 会員交流会

会員企業相互の交流の場の提供（7月、1月の年2回開催・参加者50名）

(6) 会勢維持

個別訪問による相互コミュニケーションの深化

Ⅳ．年度予算編成の要点

事業計画の裏付けとなる収支予算は、22億7,510万円である。

以下、特記すべき事項について説明する。

1. 経常収益

- (1) 受取会費は、8,720万円を計上
- (2) 事業収益は、21億6,400万円を計上

2. 経常費用

- (1) 事業費は、総額20億2,030万円を計上
- (2) 事業費のうち、
 - ①人件費は、8億8,500万円を計上
 - ②事業直接費には9億3,030万円を計上
- (3) 管理費は、総額1億2,610万円
そのうち人件費は6,100万円を計上

なお、一般社団法人として遵守すべき会計基準については、これを遵守し、また公認会計士の監査、ならびに連盟監事の厳正な監査の下に会計処理の適正を期する。

平成28年度収支予算書（損益ベース）

（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

一般社団法人 中部産業連盟

（単位 千円）

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①受取会費	87,200	87,000	200	
②事業収益	2,164,000	2,089,500	74,500	
コンサルティング事業	1,359,000	1,229,000	130,000	
セミナー事業（企業内）	147,000	138,500	8,500	
セミナー事業（公開）	546,000	580,000	△34,000	
国際協力事業	70,000	100,000	△30,000	
受託事務局事業	42,000	42,000	0	
③雑収益	23,900	23,500	400	
受取地代	20,700	20,700	0	
その他雑収益	3,200	2,800	400	
経 常 収 益 計	2,275,100	2,200,000	75,100	
(2) 経常費用				
①事業費				
事業直接費	930,300	902,800	27,500	
コンサルティング事業	507,800	458,400	49,400	
セミナー事業（企業内）	41,500	38,800	2,700	
セミナー事業（公開）	316,000	330,600	△14,600	
国際協力事業	30,000	40,000	△10,000	
受託事務局事業	35,000	35,000	0	
役員給与・賞与・福利費	885,000	897,300	△12,300	
事務所費	104,600	105,600	△1,000	
事務費	100,400	103,600	△3,200	
事 業 費 計	2,020,300	2,009,300	11,000	
②管理費				
役員給与・賞与・福利費	61,000	64,200	△3,200	
事務所費	4,100	4,200	△100	
会務・事務費	21,000	21,700	△700	
会員・広報費	40,000	40,000	0	
管 理 費 計	126,100	130,100	△4,000	
経 常 費 用 計	2,146,400	2,139,400	7,000	
当期経常増減額	128,700	60,600	68,100	
2. 経常外増減の部				
当期経常外増減額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	128,700	60,600	68,100	
法人税、住民税及び事業税	67,800	50,300	17,500	
当期一般正味財産増減額	60,900	10,300	50,600	
一般正味財産期首残高	980,121	969,821	10,300	
一般正味財産期末残高	1,041,021	980,121	60,900	
II 指定正味財産増減の部				
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高				
正味財産期末残高	1,041,021	980,121	60,900	

- (注) 1 借入金限度額 0円
 2 債務負担額 0円
 3 一般正味財産期首残高は、平成27年度決算未済につき、仮額を計上